

御宿町議会報告会 報告会録

【日 時】：令和6年7月13日（土）午前10時00分から午後0時14分まで

【場 所】：御宿町公民館 大ホール

【報告会のテーマ】：①令和6年6月定例会に提出された請願について

②令和6年6月定例会から実施した議会インターネット中継について

③「若モノ×議会まちづくりワークショップ」について

【出席者】：報告会参加者 31名 御宿町議会議員全員（10名）

- 【次 第】：1. 開会
2. 議長あいさつ
3. 各議員あいさつ（自己紹介と挨拶）
4. 本日のテーマの報告・説明
5. 情報交換
6. 閉会

1. 開会

田中司会者 みなさん、こんにちは。本日は、御宿町議会報告会にお越しいただき誠にありがとうございます。

本日は、御宿町議会で録画をさせていただきます。そして、議会だよりなどに写真掲載を予定しておりますので、ご都合の悪い方は、お申し出いただけたらありがたいです。

よろしく願いいたします。

それでは、早速、議会報告会を始めたいと思います。

御宿町議会では、昨年9月に議会基本条例を議決しまして、この条例に基づいて議会運営を進めています。

その一環として、本日議会報告会を開催させていただきました。

先ほど受付でお配りしたと思いますが、本日の資料として再度確認したいと思いますので、よろしく願いいたします。まず次第、2点目が6月議会議決結果及び一般質問表、それは裏側に一般質問表が入っていると思います。3点目ですが、3件の請願書等の写し、3件分です。そしてインターネット中継説明資料、ワークショップ説明資料、最後にアンケート、本日この報告会が終了しましたら、皆さんの感想をお書きいただくと大変ありがたいです。皆さん資料大丈夫ですか。

本日のテーマですが、1点目が令和6年6月定例会に提出された請願について。2点目が令和6年6月定例会から実施しました議会インターネット中継について。3点目が令和6年2月に実施しました「若モノ×議会まちづくりワークショップ」について説明させていただきます。

現在御宿町議会が行っている活動についてをご説明させていただきます。

本日の報告会の流れとしましては、議長あいさつの後、議員全員から1人3分以内のあいさつを行わせていただきます。

その後、本日のテーマについて報告・説明させていただいた後に、会場の皆様からご意見やご質問を受けたいと思います。

これにつきましては、滝口座長が質問者をご指名いたしますので、発言したい方は、挙手をお願いしたいと思います。

多くの方の意見を伺うため、発言は1人3分以内ということで、ご発言をお願いしたいと思います。

この報告会ですが、12時頃終了する予定であります。よろしく願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、御宿町議会 滝口議長からご挨拶申し上げます。

2. 滝口議長あいさつ

3. 各議員あいさつ

(各議員から自己紹介と挨拶)

4. 本日のテーマの報告・説明

①令和6年6月定例会に提出された請願について（田中副議長説明）

②令和6年6月定例会から実施した議会インターネット中継について（塩入議員説明）

③「若モノ×議会まちづくりワークショップ」について（北村議員説明）

司会者 以上で、議会からの報告、説明を終わらせていただきます。このあと情報交換会に入りたいと思います。座長は、滝口議長をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

5. 情報交換

滝口座長 それでは情報交換会を行いたいと思います。発言されたい方は挙手をお願いいたします。挙手をされた順に私が指名しますので、地区名とお名前を言っていただいた上でお話しください。なお、先程もお話しした通り参加されている多くのご意見をいただくため、1人3分以内に発言をお願いいたします。なお、ベルが鳴ると3分経過で終了となりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、あと1時間位ありますが、ぜひご質問のほう、ざっくばらんですが、楽しい交換会にしたいと思いますので。今日のテーマでもよろしいですし、先ほど冒頭で私が説明しました今注目の小学校の更新。また駅のバリアフリーの問題と他にも観光に関すること、町の行政に関すること、議会に関すること、何でも結構ですので、ご質問の方よろしく願いいたします。

A Aです。よろしくお願いいたします。開かれた議会を催していただきましてありがとうございます。この機会をこれからも続けていただくように、まず最初をお願いしたいと思います。ありがとうございます。私も今年の9月まで議会におりましたので、小学校更新の問題とか、あるいは駅のバリアフリーの問題につきましては、今まで私も8年間携

わってきておりますので、そういう立場から考えてですね、小学校更新問題につきましては、このままで今の小学校の現状維持で、これで本当に子ども達が安全安心で、恵まれた環境の中で勉強ができるのかどうか。教育ができるのかどうか。これは私が議員になる前からこの問題はありました。今の小学校の実態は、震度6以上きたら、今の建物は崩壊しますよ。私も教育民生2年間やってきましたんで、あそこの小学校の中身は先生方に連れて行ってもらって、中身もよくわかっています。津波が来なくても、ここはまだ震度6以上来ていません。震度4が精一杯ですから。首都直下型の問題も房総半島沖の問題もですね、危ないって言われてるんですね。今あっちこっちで地震があれば、あるいは大雨が降ったりしますとですね大変なことになってるじゃないですか。それで本当に現状維持でいいのかどうか。私はあの時は、今年の5月は議員ですから、議員としてそういうことを感じておりましたし、今一住民として何とか早く解決すべきじゃないかと。もし津波がきたら、あそこは海拔4.3mなんです、小学校は。中学校は14mあるんですよね。10m以上の差があるんですよ、津波が来た時にですね。それと先ほど議長からも話がありましたけども、中学校も小学校も保育園もですね、人口減ってきます。だから中学校と一緒にしたほうがいいんじゃないかと。議員方の反対意見、反対討論を聞いておりますと…。

司会者 話の途中で申し訳ありません。ちょっと時間になりましたので、今までの質問に対して答えさせていただきます。そのあと最後になったらよろしいですか。

A 私、途中ですけども。

司会者 時間が経ってますので。

北村議員 最後簡単にまとめていただいたらどうですか。

A 私が、もうひとつだけ。あと、1分30秒。先ほどですね、議長からお話がありましたが、小学校を移転した場合の跡地がどうなんだということが決まってないじゃないかと。私はこれはね、論点のすり替えだと思いますよ。小学校を移転させてから、あとの小学校、あそこは一等地ですよ、御宿町の。これはこれから経済活動、住民活動に最高のところなんです。これをですね、専門家を入れて本気になってあそこの跡地をどうするか、これから考える問題なんです。ところがまだ小学校の移転が決まってないじゃないですか、議会が議決しませんから。ぜひですね、こういう論点のすり替えをして移転はできないんだということだけは、議員の皆さん方論点のすり替えですよ、今、聞いてますと。小学校の跡地をどうするんだ、決まってないから。あるいは岩和田の小学校もまだ決まってないじゃないかと。それと今…

座長 Aさん、すいません。

A ぜひ、論点すり替えしないで本気になって、もう一度検討していただきたい。二元代表っているのは、議決をしなければ執行できないんですよ。それだけお願いして…。

座長 すいません、一人3分で…。

A お答えいただきたい。

座長 簡単にお答えします。Aさんとは議員の時も喧々諤々、僕も言いたいことを言わせていただいて、Aさん経営者なんで合うところは合う、意見が合わないところは合わない。今回の論点のすり替えとおっしゃいましたけども、議会は論点のすり替えは全くしてま

せん。論点のすり替えをしてるのは、町執行部が論点をすり替えて、議決をいただいているということは、その後に中学校に移転するとか校舎を十数億かけて建てることは議決してません。だからおかしいんじゃないですかということで、僕らも必死になってそれは町長違うんじゃないですかということで。ましてですね、布施小学校が今度廃校になるわけですよ、来年。布施小学校の子は御宿小学校に来させないといけないんです。校舎を中学校に建てようが建てまいが、3年間は少なくとも御宿小学校もしくは、ほかの施設を使わなければいけない。それで言わせていただくんですけども、御宿小学校は伊藤鬼一郎先生の五倫校の精神は、我々御宿小学校、このなかに大勢の方が卒業してまんですけども、聖地の聖地なんです。今津波の問題とか地震の問題は重々承知の上で、専門家を入れて、執行部にどうなんですかということをお願い正してます。ちなみに、震度6で崩壊するという事実はありません。耐震はしっかりしてあります。少なくとも、御宿小学校のリノベーションの予算は、6月議会で取らないといけないんじゃないですか、なぜならば布施小学校の子を来させるのに、傷んだ校舎で、それこそ受けさすわけにはいかない。そこから始めるべきじゃないかと。何度もですね、委員会というものがあって、協議会というものがあって、議会に突入するんです。議会、委員会とか重視の予算委員会は我が町にはありませんので、否決なんていうことは、ほぼありえない話なんです。なんで否決が起こるかということ、否決しますよと言っても町長はそれを提出するんで否決が起こるわけで、今回の1月12日も、もう暮れの時点でちょっと見直してください、このままでは否決しますよと。それでもいいというから、否決になっているわけです。数年前の当初予算の否決も、いいんですかこのままで、って言って、そのまま突入してるからそういうことになるわけです。まあそういうことも踏まえて住民の皆さん、子どもの安全安心をですね、誰が子どもの幸せを願わない親がいますか。我々だってすごい真剣にですね、考えて専門家を入れて、町のランドデザインを考えて、先ほどAさんも言いましたが、同時進行です。移転するなら小学校跡地をどういうふうにするかって、同時進行でなければ今小学校の…。時間がきましたんで、その辺にしますけども。次の質問の方にお渡ししたいと思います。

北村議員 少し補足をしてよろしいですか。すいません。今、議長はですね、我々議会とは、それから僕らはという言葉で、結構織り交ぜながらお話をされてますが、一言議長にも申し上げたいんですが、反対討論、反対をした議員も1人1人、ほぼ全員が反対討論をしてたと思います。何が言いたいかって言うと、みんな同じ考えで反対票を投じたわけではないということをご理解いただきたいなと思います。Aさんの話しにあった、今の校舎のままでいいかという話に関しては、私は新しい場所に新しい校舎をという考えであります。でもいろんな今時間がないので申し上げませんが、反対討論を読んだけいただければ、なぜ私が今の町の提案には賛成できないということは述べてありますし、また今日終わった後でも、もしお話しする時間があれば、私のどこ来ていただければ自分の思いをお話ししたいと思います。同じようにですね、結構いろんな理由で、それぞれ反対をしている議員がいるということだけ触れさせていただきます。以上です。

座長 次にですね、ご質問の方、挙手をお願いいたします。

B Bです。今日の報告会、先月の末でしたかね、回覧板で報告会がありますよといった

のが来たんですけれども、町の議会のことをいろいろ知るためには町のホームページがあると思うんですよ、議会のホームページ。報告会の案内って出てますか、今見てください。

岩瀬議員 出ていません。

B 出てないですよ。これ、案内、議会からのお知らせ、出てないんですよ。議員さんどう思いますか。

座長 まったく、我々の落ち度で、大変申し訳ありませんでした。

B インターネット中継、始まって塩入議員がやってますけど、私インターネット2日間見ました。2日間見ようとする10時間かかります。休憩時間入れて14時間あります。私、当日1日目の日、議会の傍聴とインターネットの傍聴ってないが違うんだって、両方体験しました。議会で傍聴して、すぐ家に帰ってパソコンつけて議会中継して、また戻って、こんな感じで違うんだということがわかりました。もう一点ですね、2日目、全部聞いたら、どういうふうに聞いたかということ、家じゅうのデスクパソコンを全部上げて、ボリュームを上げて、要するにラジオ状態で聴いたんです。画面ずっと同じですからラジオ状態にしてほかのことしながらずっと聞いてたんです。私、議会中継、これから多分改善されると思うんですけれども、まさしく自分の関係のある所意外だと、もう聞いてない、聞いてられなくなっちゃう。以前ですね、議会中継をケーブルテレビで流してる担当者の方と話をしたんですけれども、都議会の都の区の方の議会中継をやってる区役所の方とお話ししました。議会中継ほど面白くないものはないよと。確かにドラマじゃないですから。ただ、自分が関心がある所、これに関して関心がありますけども、それ以外なことは、あれほどつまらないものはないよということ。実は議会中継辞めろと言っているわけではないですよ。これからのこととして。私は議会中継は賛成の方ですから。その上で、これから考えていただければと思います。もう一点はですね、単なるミスではないよということ。あと町のホームページを見てもらえればわかると思うんですけど、議会のところですね、14項目あるんですよ。項目多すぎるんですよ。同じような話のことがいっぱい出てくるんです。そこは少し改善して、少なく5項目くらいに入力してもらって。議会のホームページ一番わかりやすいです、見てます。それから…。

座長 Bさん、3分経ちましたんで、もう少し…。

B もう一点だけ。前日も言いましたけど、議事録、会議録ですか。あれ33ページあって。私全部読みましたけど結構しんどいです。ですからその点も含めてですね、報告のあり方を検討していただければと思います。これは要望ですので、お願いいたします。以上です。

座長 ありがとうございます。総務教民委員会のほうで、よろしいですかね委員長。検討するというので。承らせていただきますんで、ありがとうございます。

塩入議員 貴重なご意見ありがとうございます。ネット中継なんですけど、やっぱりなかなかリアルタイムで視聴するというのには、現状ちょっと向いてないかなと思います。でもNHKとかで国会中継とか、熱心にご覧になれる方とかもおられるかもしれないので、やらないよりは絶対やったほうが良いということ間違いなくて、最終的にはで

すね、終わった後に、例えばこんな答弁があったんだよみたいなのが、後からでも議会だよりを見てから、ここのシーンをもう一回自分で動画の方で確認してみようとか、そういう使い方ができるということに価値があるかなあというふうに、現状考えておりますので、そのような理解でですね、とりあえず見ていただくという雰囲気を実感していただくと。そういうところから始めていただけるのがよろしいかなと思いますので、ぜひともですね、ご視聴の方お願いしたいと思います。以上です。

座長 ほかにご質問のある方、どうぞ。

C 今日はありがとうございました。高齢者からでもよろしいでしょうか。私事で申し訳ないですけど、去年脳梗塞を患って、今左足がちょっとうまく上がらなくて、駅の階段がとてもじゃないけど上がれないんです。さっきその話も出ましたけど、この辺だと大原に行かないとエレベーターがないんですね。車で大原まで行ける時はいいんですけど、もう免許返しちゃいますと、電車に乗るのも乗れなくなっちゃうんです。特急も今チケットも取りにくくなってますよね。ですから、東京に行ったりなんかすんのどうしようかなあって考えてますので、早くバリアフリーみたいなところ、考えていただきたいと思います。それともう一つ、勝浦が今涼しい所だといって宣伝して、移住者がだいぶ増えてるって新聞も出てましたけど、御宿はちょっとそういう宣伝が足りないんじゃないかなと私普段思ってるんです。ですから、何かもう少し良い方法があるんじゃないかと思うんですね、宣伝方法も。ですから、人を増やす。どんどんどんどん減ってますよね人口は、御宿はね。そういうことを御宿町ではどういうふうに考えていらっしゃるのか意見を聞いてみたいなと思います。以上です。

座長 ありがとうございます。切実な問題だと思うんです。要するに、先ほども申し上げましたけれども、我々は予算提案権とか、執行権があるわけじゃないんで、その辺はですね、承った質問は町長に直にこういうふうですよっていうことをお伝えします。我々が今これがどうのこうのと言うことができないんですけども、少なくともバリアフリーって聞くと、聞こえが良くて、結構お年寄り、高齢化が進んだ町なんで、エレベーターあったらいいねという、もう15年前からあったらいいねで始まってます。ただ予算の問題だとか国土交通省だとかJR、町の負担金の問題とかでなかなか進まなかった。バリアフリーはですね、僕も10年前から議員でいましたから、よく知ってるんですけど、もともと執行部がバリアフリーは駅エレベーター、片側車線の下り車線の廃止でそのまま改札口に出る、あとは今回のスロープ案。これは昭和の時代にはまだあったんですね、夏の時に。このスロープ案ていうのも、執行部は絵を出さないから我々もわからないところがあるんですけど、すぐ改札口に出られないんです。北側にスロープを使って、簡単に言うと大回りして、まあ50mから100mのスロープになるかわからないんですけど、そういうスロープ案なんです。だから元々はバリアフリー計画っていうのは、エレベーターで進んでたものが、なぜかここで変更になった。その最大の理由が跨線橋が古くなった。お金がかかる。それはJRがお金がかかる話で、町は平成29年にJRの子会社に設計と仕様書まで6,000,000円をかけてエレベーターの設計までやってるんです。じゃあそれはどうなっちゃったかっていうのは、町執行部、町長のほうにご質問をお願いしたい。だから我々は、今の状況で、そのバリアフリーも身障者の方々やお年寄りがそう

いう屋根もない所、踏切も渡っていいのかという、それは危険でしょということと、浜の踏切を廃止しろというJRからのお達し。それもなかなか廃止することは難しいだろうということを皆さんにはお伝えしておきます。すいません、時間なんで先に行きます。

北村議員 町の良い所、PRですね、広告宣伝不足というご指摘お話をいただきました。我々も私もその通りだと思ってます。で、先ほどご紹介した若者ワークショップでも、まさに同じ話が出てですね、非常にある意味手厳しいというか、ご指摘をいただきました。つまりは、PR、広告宣伝っていうのは民間ではほんとに凌ぎを削ってですね、あるいはある程度投資をしてプロフェッショナルを呼んで、いろいろ学びながら、新しい技術も使いながらやっていると。町内にも、そういったことで小さな事業者さんでも大きな成果を上げられてる事業者さん、実はいらっしゃるんですよ。でも役場、我々議会、議員も含めてあまりそこは得意としていない。であれば町内の、そうやって目覚ましい成果を上げられている、広告宣伝をうまく使いこなしている方たちを、講師に、町民の方を講師にお招きして、そして役場の職員や我々議員も勉強すると、そういう機会、ワークショップをぜひ企画して欲しいという若者と議会ワークショップからの提案がありました。これは本当に素晴らしいアイデアだと思ったので、これの実現に向けてですね、先ほど書面にして町長にぶつけるなんていうのも申し上げましたけれども、まず実現に向けて頑張っていきたいなというふうに思っております。以上です。

C ありがとうございます。

座長 はい、どうぞ。

D Dと申しますけど、まず最初に北村議員、先ほどは途中でもって口を挟みまして大変失礼しましたけれども、もう皆さんの経歴とかその他は広報でもよく知ってましたもんですから、あえてこの場でご紹介いただかなくてもわかるって言って、大変失礼いたしました。先ほどバリアフリーの問題ですけれども、議長の認識が間違ってます。あれはですね、まず最初にエレベーターをつけるっていうのは目的じゃないんですよ。手段なんです。弱者を救済するためにエレベーターをつけたって言うたら、乗降客の数、その他でもって御宿駅は基準に達してないからつけられないよって断られたんです。それからもう6年前から我々もいろいろな議題、図面まで出してやってるんです。まず、大原側のほうの踏切を閉鎖して、そして下り線を閉鎖したらどうかとか。それでいろいろな案を出して、最初に踏切を作って欲しいって言った時には、とんでもない話だという話になったんです。ところがそこは人間が通るだけで、自動車が通るわけじゃ、自転車が通るわけじゃない。現に京成電鉄の海浜稲毛の駅の中は、大きな踏切が出来てるんですよ。そこを毎日人が通りながらやっていると。ですから、そういうような所、危険であるとか何とかってことはありませんよと言ったんですが、JRの方は一切聞かないんで、それで踏切を作るなんてとんでもない話だって一蹴されてしまったんですね。そこで、堀川議員たちと一緒にあって、なんとかしてくれないかってことで、話してみましたら、やっそこっち見てくれて、それでエレベーターっていうのはよさそうなんですけれども、大変危険なんです。壊れます。ですから、そこを高齢者が使ってて、例えば夜中に故障したらエレベーターの中から救いを求めても、御宿駅には駅員はいませんから、勝浦から来るのに1時間以上かかっちゃうんです。そういうことで、便利なよう

ではあるけれども、それを維持するのに今度は、エレベーターのチェックその他が非常に金がかかるんです。私も自分の会社にエレベーター持ってますけれども、これの点検とメンテナンス、こういうことで非常に金がかかる。それでいろいろやった結果、スロープって言いますけどスロープは駅の改札口のすぐ前からホームに上られるようなスロープを作るんであって、回り道だなんてのはほとんどない話でそんな凶面は出てません。そういうことで、目的と手段が一緒になって、なんでも町長に反対するからって形で、例えばエレベーター問題も絡んでこういうことになる。我々高齢者は大原か勝浦に車でもって行って、特急に乗らないといけないんですよ。ですから今のJRっていうのはですね、支社長が非常に頑固で、快速を止めるとかなんとか勝手なことをやってるんです。そういうことで、やっとですね、ここの森代議員とかを通して、話ができるように持ってきたんです。それをつぶさないようにしていただきたい。以上です。

座長 貴重なご意見ありがとうございました。我々もですね、町長になんでもかんでも反対してるわけではなくて、今Dさんの言われたことは、じゃあ出来るまで勝浦、大原までエビアミー号を使ったらどうかとか、すべて提案はしてあります。またここで誤解が生じるといけないんですけど、そのスロープ案、僕は遠回りすると言ったんですけど、直接出られるような絵も出てません。それはちょっと違う。森代議員もなかなかJRを動かすのはなかなか難しいっていうことも聞いてます。誰もいいものを作るのに、誰も反対はしないんです。じゃあやってみたらどうだ。で、浜の踏切の所有者もまだいるし、町道も入ってますし、そこを本当に止めていいのかっていう議論を全くされてないんです。うちの担当課からは、担当課長は難しい話だということ町長には進言してあるということ聞いてます。また、それは後日ですね、後でもいいですよ。後で時間作りますんで。

D 御宿台区自治会で総会やってますよ。議員も出ていますよね。

座長 議員も出てるの承知してますよ。

D 全会一致でもって廃止してくださいってことを…。

座長 それはなかなか難しい話です。

D 何が難しいんですか。

座長 浜の踏切の廃止はそう簡単に既得権があって、廃止するのは難しいという。

D だから1人でも反対してれば通すってことですか。浜の方は避難をして、津波が来た時にあそこに逃げるのに絶対必要だから閉じちゃ困るって言ってたんですね。そのあと浜のほうでですね、逃げる場所を作ったからそれは大丈夫ですってきてるって話を聞いてます。

座長 いや、そういう話は伺ってない。それは後日にしたいと思います。

D 後日っていうことはどういう話をするのですか。

座長 後で終わってからでも個人的に聞きますんで。

D いやいや、皆さんに聞いてもらいたいですよ。

座長 じゃあこのまま続けます。

D どういうことになってるんですか。我々に伝わっている話というのは嘘なんですか。

座長 嘘か本当か分かりませんが、伝わり方が全くよくわからないような伝わり方をして

るんで、皆さんが混乱してるという状況は生まれてます。

D それはね、何か公の方法でも何でもいいですけども、伝えていただかないと。我々こないだ御宿台の自治会の総会を開いて、そして、全会一致でですね、あそこは通るのには大変だし、通る人も少ないし、それから、マムシだとかツツガムシがいるから、あそこは通らないほうがいいのかそういう話を聞いてるんですよ。それで、全会一致、出席者全員でもって廃止に賛成だっただけでもって意見書を出してます。

座長 それは、御宿台区はそういう話なのかもしれませんが、肝心の浜区でもそういう話は出てないです。

D いや浜のほうから伝わってきてる話は、そういうことだっただけ我々のほうには伝わってきてます。

座長 いや、それは、区会開いてませんから。それは違うと思います。

D 違うってどう違うんですか。

座長 町長に聞いてください。

D 町長に。

座長 町長に聞いてください。我々もわかりません。

D だけど、それを突き詰めていくのが議員さんの仕事じゃないんですか。

座長 突き詰めても、そういう結果になってる状況、だからこの場に、フォーラムでも何でもいいから出てきてくださいという進言はしてありますんで、その時にやれば一緒に。我々執行部ではないんで、そこまで答えられないし、区長さんがどうのこうのっていう話は我々も聞いてないですし、少なくとも浜区の人たちには伝わってはないです。

D ちょっと、私は今度聞きますけれども、塩入議員、こないだの議決は町の方にはどう伝えてあるのですか。

塩入議員 町のほうに伝えるというよりも、先日の御宿台区の総会における議決というのは、踏切の廃止に反対をするかどうかという議案でしたので、それに関しては反対は御宿台区として、踏切の廃止に反対は致しませんと。そういう議決でございます。

D それはどういうふうにして表明されてるんですか。町のほうには。

塩入議員 町の方には、特に表明という形ではしておりません。御宿台区のホームページ上では、議事録という形では出てますが、特に町のほうに対して、御宿台が踏切をなくしちゃってもいいよみたいな話は一切しておりません。

D しかし、御宿台の会を開くときには、議題として出てますよね。議題として出てて、それでみんなでもって賛成反対の討論をして、そして全員賛成でもって議決してますよね。

塩入議員 なので、その議決は、踏切の廃止に反対をしませんという議決です。

D うん、だからそれはどうしてそういう議決をしたんですか。何が必要で。

塩入議員 町の方から、今回のバリアフリーに関してですね、駅のバリアフリーを実現するためには、浜の踏切を閉鎖しなきゃいけないという話が町の方から、まず区にありました。

D あったんでしょう。

塩入議員 ありました。

D 公なのが。それに対して公の結論が出たのに、それが何にも表明されてないというには、どこで止まっちゃってるんですか。

塩入議員 止まってるっていうよりも、そのような話が町からあったので、この踏切を廃止するというのに、区の執行部としては、区の運営委員会としてはあの踏切を廃止することには反対ですと。なので、その総会の席で皆さん反対していただけるんじゃないかということで提案したんですが、それが否決されたというだけでありまして。反対をしないというだけで、諸手を上げて賛成ですっていう議案ではないということです。

D だけど、議題としてはそうじゃなかったですよ。

塩入議員 議題は踏切の廃止に反対しますという議案だったんです。

D だから、それは否決されたわけでしょ。

塩入議員 否決しましたね…

座長 すいません。すいません。それ御宿台でやってください。

D 浜が絡んできてるから問題にしてるんですよ。

座長 浜は絡んでません。浜区はまだ絡んでません。

D だから、どうして御宿台にだけ諮問があって、浜区には諮問しないんですか。

座長 それは知りません。町長に聞いてください。

D それはなんですか、どこが誰に聞けばいいんですか。

E 二代表制なんですよ。政策立案権、政策提言権は議員にはある。いいですか。そういうところを間違えないでください。議員にもあるんです。

座長 執行権はないです。

E 執行権はないですよ。そりゃそうでしょう。議決権で反対反対反対。あなたたちは立候補する時に私は御宿小学校に、町で広報に流したことは、反対するといっって、一人として反対するとして立候補してない。おかしいですよ。反対のための反対して。ものごとは皆さんが幸せに、次の世代にいい町を引き継ぐ。そうであれば議論をする、きちんと話をする…。

座長 すいません、地区とお名前をおっしゃってください。

E Eです。全然関係のない地区の確認。

座長 じゃあ、どうぞ。

F 質問じゃなくてすいません。私小学校の子どもがいて、小学校の建替えとかで、すごい興味っていうか、関心があるんですけど、議員の皆様が反対してくれたのは、私助かったなと思ってます。あの、中学校の中に建てる狭いなとか、隣の浅間様を削らないといけないうって最初なって、入り口を広げるために。広げなきゃいけない、そこがハザードマップになってるよっていうの聞いたりして危ないなあとあったり、雨の日きっとお迎えとかがたくさんになると、あそこの道路がとても使いづらくなっちゃうな国道が隣なのっていう懸念を全部、議員の方たち吸い上げてくださって、それを持って否決してくださっているの、私たちも新しい校舎すごく楽しみにしてるんですけど、みんなが安全に通えるような小学校がいいなと思ってるので、町からの提案っていうか町が決めてこういうふうにしますっていうのを、それはちょっとで否決していただけたのは、私たちは助かったなと思ってます。あの流されるように、じゃあ新しいの立てて、いい

んだねって、建てましょう、で建ててその後のことを長期的に議員の皆さん考えて、使い方とかどう危ないかとか、今、町の執行部の人たちは、ここまでちょっと考えが及んでないんじゃないかっていうところまで、考えていただけているので、私たちは良かったなと思ってます。一保護者の意見ですけど、ありがとうございます。

座長 ありがとうございます。

F 質問もいいですか。小中学校の給食の無償化の事なんですけど、これが結局されないということなんですか。無償化にしてほしいよっていうのと言って、されないってということなんですよ、きっとこの感じだと。されない理由が町長から小中学校すべての児童生徒の教育環境学習環境の整備予算の拡充によりって、そっちに当てるよっていうことだと思うんですけど、それは具体的に何なのかっていうのは全くわかってないので、もし、それが具体的に何なのかっていうのが議員さんたちのほうで把握されてるんだったら、私たちも知りたいなと思って質問させていただきます。

北村議員 それでは今のご質問に関してですが、請願を受けて、ぜひ請願いただいたとおりの実現してほしいということで、多くの議員がですね、賛成をして請願ということで石田町長にお渡ししたところの回答がこうであったというのが、今日の報告で、今ご質問のとおり、この町長の回答見ただけでは、まあなんとなくやる気はなさそうだけど、全然よくわかんないなという回答ですよ。これは誰が読んでもそういう内容だと思います。我々も同じ気持ちでこれを受け止めて、今、町長はどういう目的か我々知らされてはないんですが、海外のほうに視察に行かれているということで、それについてお話をする機会が時間がまだ持っておりませんので、お帰りになりましたらですね、町長これどういう趣旨で、これを受け止めていただけないんだということを、またこれからですね、協議をしていかなければいけないなというふうに思っています。

F さっき読み間違えちゃって、給食費とはまた別でしたよね。修学旅行の方でしたね。修学旅行費補助とか中学校入学準備金の支給を開始するっていうので、その整備、予算の拡充に当てますっていう回答だったと思うんですけど、それがまだ何なのかって多分わかってないっていうことで、あと、こういうの多分保護者の皆様、えっ、ないのってなると思うんです。ただ中学校入学準備制服とか買ったり、いろいろやると私 100,000 円くらいかかるっていうことを聞いたことがあって、年子の方とかね、2年連続になったりして結構負担も大きいと思うんですけど、それを削ってまで何をするのかっていうのは、多分皆さん保護者の方々、すごい気になってると思うんですけど、こういう報告を忙しいパパやママが、申し訳ないけど見ないような紙に書いてあったりとか、小学校からの紙で書いてっていうのだと、少し不誠実なように思うので、町長とか町の執行部の方の対応というか、その知らせ方、ポーンみたいな感じに感じてしまうので、こういうのを、小中学校のお父さんお母さんが集まれる時間帯で、説明とかされるようなのを設けてくださいっていうのを、議員さんの方から町民の意見として、ちょっと言っていたらいいなと思って質問っていうかお願いなんですけど。お願いします。

田中副議長 6月の定例会に一般質問で、今お話のあったことを質問として、町長に出しているんですね。そのときにやはり3月の予算審議の時に、その説明が何もなかったんで、我々もそれを見逃しちゃったのかな。そのことは、本当に申し訳ないなと思います。

その中で、どうしてそうなったのかっていうことは、議員協議会の中でも審議させていただきました、町長含めて。どうなんでしょうっていうことで。その時に回答いただいたのは、それを元に戻すことはできませんかって、金額的には議長から話したようにそんな大きな金額じゃなかったんで、何とかそれを戻していただけないかっていうことを伺ったら、それはしませんということで、即、断られたんですね。その後この請願が出てきて、回答がこうだったものですから、これから先ほどの請願の説明の中でも申し上げましたけど、これからやっぱり執行部のほうに注視していきたい。いろいろな面で話をしていきたいと。修学旅行費についても、入学準備金についても、町独自の支援対策だったんですね。それがいきなり切られたということで、切られて半額になったということで、ちょっとこれは無謀じゃないかっていうことは指摘してあります。

F 私たち、なんで切られたかって疑問に思ってたんですけど、ちらっと噂程度ですけど、iPad 支給されてる iPad の修理費がどうこう。で、それをするのにこれカットしてっていうふうに噂程度でお伺いしました。

田中副議長 それはすり替えになると思いますので、それについては、今後本当に働きかけはしていきたいと思います。ただ予算を復活していかなきゃいけないという問題でもありますので、ここで即、実施しますということは申し上げられませんので、とりあえずそういう過程は踏んでいますので、申し上げたいと思います。

F 我々も楽しみにしています。

石井議員 今の質問で、追加で答えさせていただきたいと思いますが、先ほどのワークショップのことで北村議員が、こうしたことについて文書で町長に回答を求めるとい話をされましたですね。今お話しいただいているのは、私の委員会の方なんですね。教育民生、総務も含めてありますので、先日の委員会もですね、このあいだの6月22日の町長の報告、ここで説明会があって私も参加したんですけども、私たちの知らないことがたくさんお話しされたんです。今ご質問というか提案、学校もそうですし、バリアフリーについてもたくさんされました。当然の質問とかご提案もありました。そうしたことを整理をして議会の中でまとめて、町長に対して質問を出す。そしてそれを回答すると。議会を通ると時間が過ぎてしまいますので、委員会として、議長の権限の中で文書を出して、今日この会場、広報されてなかったということで大変申し訳なく思っていますけども、そんなことがないようにして、少なくともネット上では文書として回答書を出せると。そしてまた、必要があれば呼んでいただければこういう場所も含めてですね、例えば学校に来てくださってということがあれば、多分議会のほうだと学校にお邪魔することもできるというふうにも思いますので、ぜひ議会事務局までご要望をお寄せいただければ、皆さんで、議員皆さんで、町長、議長において検討してまいりたいと思いますし、またそれに答えてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

G Gといいます。バリアフリーの件で、ちょっと申し訳ないんですけど、議員10人の方が具体的に、率直にどういうふうに考えてるのか。1人1人の意見を聞かせていただきたいんです。

座長 1分程度で、そちらからお願いします。

塩入議員 私自身はですね、バリアフリーに関してエレベーターの設置が困難であることは重々承知の上でございます。ですから今回のスロープ案、これが実現、本当にできるのであればスロープ案でも構わないというスタンスです。ただし、その浜の踏切の交換条件で出されている浜の踏切の閉鎖ですとか、もちろんその構内に踏切を作ることの安全性ですとか、そういう部分がクリアできるのかどうかというのは、また別の問題と私の方は考えております。以上です。

伊藤議員 私の考えも、エレベーターの方だとお金のほうもかかるので、スロープのほうがいいかなと思います。

岩瀬議員 やはり我が町にとって、駅のバリアフリー化、駅だけではなくバリアフリー化は当然進めていくべきところだと思います。しかしながら、この問題を10年もっと長引かせてしまっている状況にも問題があると思います。協議をしながら、もちろんエレベーターでもスロープでも協議をしながら、先にエレベーターがついている勝浦への送迎、大原駅への送迎をしながら協議を進めるべきだったと思います。ですから困っている人はこの10年20年ずっと困ってるわけですから、このやり方は問題があると思います。ただバリアフリー化は当然必要だと思っております。

椎木議員 私は、予算的な問題でエレベーターは難しいのかなと。技術的に考えたらスロープ案は大変危険が伴うのではないかと思いますので、これはどちらも賛成でもあり反対でもあって、これから協議することじゃないかなと思います。

藤井議員 私はバリアフリー化、高齢者の皆様、お年寄りの皆様が先ほども欲しいと言っているところをみますと、検討することは必要かなというふうに思っております。

北村議員 私としてはですね、バリアフリー化は当然進めるべきですし、個人的にはエレベーターを何とか実現する方策を、まだ諦める段階ではないなというふうに思っております。いろんな場面で国のほうの話を聞きますけれども、地方の、特に首長の熱い思いでいろんなことがひっくり返るといことは、常に日々起きております。スロープ案は何人かの議員が懸念を示していらっしゃるとおり、かなりの危険が伴うということと、それから踏切の閉鎖に関しては、区としてはある見解を、反対をしないという見解を出されていることは存じておりますけれども、反対される個人が1人2人と出てきたときには、区の意向とは全く関係ない形で、訴訟、賠償みたいなことが出てくる可能性がある。その辺もまだこれからなんですよ。その辺が明らかになってきながら、きた段階でその時その時判断していかなければいけないなというふうに思っております。以上です。

土井議員 私はですね、スロープ案が賛成です。それはですね、私自身市川の方に行きまして、京成電鉄からですね、先ほどどなたかがお話しになったように、踏切の、大型の、広い踏切ですね、隣接して乗客が横断していく。それをまざまざと見まして、私幼少の頃は、御宿駅はみんな線路の上を歩いて改札口通っていったんですね。その意味はなぜかっていうと、我が町は財政的に厳しいですので、やっぱり背丈にあったものを選んでいくっていうのがよろしいのかなと。最近私は内房線に、ぐるっと木更津まで回ってきました。鴨川市をですね、一カ所ですね、片側下り車線を全部撤去して、完全なるですね、スロープ。健常者は階段で、あと高齢者、不自由な方はスロープっていうような、

そんなのがありました。そして鋸南町ですね、那古船形、これも同じような案を取ってまして、あの路線の中で2カ所だけそういう案をとってありました。したがって私はですね、一番お金のかからない線路そのまま、信号機をつけて渡って。浜の踏切は、私はですね、廃止じゃなくてアンダーパスで、片側の新線は新しく複線の箇所はアンダーパスなんです。残りの部分が今まであった在来線の線ですけど、それはですね、上がって横断していくんです。したがって、その今までの線の下をアンダーパスで通って向こうに行けば、何ら今まで通り使えますので、私はそれを推奨したいなど。この前も町長にも話したら、検討しておきます、検討しておきます、いつ検討結果をくれるのかなと思ってですね、実は待ってるんですけども。ぜひともですね、少しお金かかるけど、やっぱり人の安全は第一優先に考えるべきだなとこのように思っております。以上です。

石井議員 基本的な私の考えは椎木議員と同じです。私はその前の前提条件として、今回もですね、バリアフリー計画っていうのとセットなんですね。それがまだ御宿町出来ておりません。そこに先程何人かの議員がおっしゃってましたけど、じゃあその間はどうかと。それから駅も含めてバスだとかいろんなものがありますね。そうした公共交通も含めて、道路も含めて。そうしたものが今回の町長の提案の中では必須になっております。もちろんスロープだけではなく、エレベーターでも同様にバリアフリー計画は必要だということでございます。それを示して町民でこうした会議ですかね、場所を作ってどうしていくのかということをするっていうことが町の方向性をですね、そういう方法ではないかなという私個人としては考えています。以上です。

滝口議長 冒頭の挨拶にもありましたけども、綺麗事を言うつもりはありません。バリアフリー計画はあって当たり前の話。それが15年間駅のエレベーターだったんです。町長の新年の挨拶を全部ここに取ってあります。15年間言い続けて、この600万使って仕様書までJRの子会社に作らして、今更バリアフリーはないでしょうみたいな話です。先ほども言いましたが、バリアフリーで、スロープ案で改札口に直接出られるような話ではないんです、絶対に。それは片側車線をつぶさないとまっすぐスロープ渡って行けないです。だから、この前までは100mって言って、この前の会議では50m。エレベーターは当時平成29年、2億3000万でできます。じゃあ金つけばいいじゃないですか。今は10億かかるって、それは事務方は目が点になってましたけど、町長はそういうことを言いました。この何年かの中に跨線橋がダメになって10億に跳ね上がるってことはどういうことなのか。小学校も同じです。中学校の移転の時、小学校を建てるんじゃないで、小学校を移転させる、中学校を建てるという話が、いつの間にか東校舎の中に方向に部屋数が足りないから、3階建てを建てると始まった。12億、今建設費が2割上がってるから12億じゃとても追いつきません。交付金をもらったとしたって数億の話で、十数億の借金を背負うわけです。先程言いましたけども、御宿は高齢の町です。だから私はエレベーターをできてもできなくても、町長の公約で言い続けたんだから、皆さんが本当に欲しいのは、お金のことをどういうふうにするかというのは執行部の仕事で、エレベーターを推進してくださいと。ただその1点です。100m遠回りするスロープ案。ちょっと勘違いが町中でも起こってるんですけど、そういうスロープ案は全く受け入れられない。選択肢はいっぱいあるんじゃないですかということは町長に申し上げて

あります。

田中副議長 スロープ案ということで、エレベーターの問題はやはり駅員がいないっていう、今無人駅ですよ。先ほど、何かあった時に対応できないんじゃないかっていう話もありましたけど、これからエレベーターというのはどうなのかなって。駅員を配置されるのであればエレベーターも必要です。ただ、そうでなければ、今話が出ているスロープが必要ではないかなと思います。ただそのスロープにつきましても、最初の説明の時は、改札を出てすぐそのままホームに上がれるっていうふうに私は解釈しました。その後また、説明が変わってきました、それは無理だと。改札口を出て、右のほうへ最初70mって言いましたかね。70mくらい右のほうへ歩いて行って、踏切を渡って、ホームに上がるんだっていう説明だったんですけど、最終的な説明がまだ図面も何も我々も見えてないです。その図面を示してほしいっていうことを何度も申し入れてますが、それがまだ最終的なことがまだわかっていません。ということで、スロープにすることは、最善策、それがいいんじゃないかって私は思いますけど、もっと細かいことをきちっと調べてからじゃないと、いくら協議をしても、ここで仮に決まったとしても、今度JRに行ったらここが違いますよ、国交省に行ったらこれが違いますよということで、方針をしっかりと決めていかないと、なかなか先に進まないのではないかと、そういう懸念があります。以上です。

A 短く申し上げます。この移転につきましてはですね、最後の方のバリアフリー化につきましては、今しがたのご意見のとおり進めていただきたいなど。今、駅のバリアフリー化に1つだけあるのは、その前に町全体のバリアフリー化をやって、その中に駅のバリアフリー化をJRさんと一緒にやりましょうってことになってるわけです。これは昨年の9月、私もその時は議員でいたから。だからそれを進めていくんだという前提です。今いろんな町民の民意ですね、ありましたんで、それを受けてぜひですね、二元代表っていうのは、我々の意見をぜひ議会にやってほしいってことなんです。皆さん方がやるんです。町長に我々が言うんじゃないんです。この問題については、先ほど言った通りこのバリアフリー化の問題が1点。それからもう1点はですね、小学校の更新の問題ですけども、これは6年の1月ですか、父兄会あるいは住民懇談会それから住民のアンケート、これをとってますよね。この時に何回も父兄会で説明しているはず。この前もですね、6月中旬だったですかね、執行部はこの移転問題の住民懇談会開いてるじゃないですか。その時にも意見があったと。そこで、6年の1月のアンケートの時は70%の人たちが、住民の方が中学校移転するってことをアンケートで出してる、7割の方が出してる。これをどういうふうに議員さん方がですね、民意として受けるかどうか、これは皆さん方の判断です。我々の意見は、民意はそうですよ。小学校移転問題の民意はそうですよ。それからもう一つは駅のバリアフリーもまた言った通りです。これを我々に代わって議会は審議する機会がたくさんあるじゃないですか、委員会もあれば全員協議会もあれば本議会もあるわけですよ。そこで、皆さん方が我々の意見ですね受けて、執行部と審議をしてくださいよ。民意が通るまで皆さん方が頑張ってもらわないといけませんから。現実的には議会は議決しなければ執行できないんです。議決するようにですね、執行部を説得してくださいよ。それをお願いしときたい

と思います。我々が町長のところに行ってやるんだっいたらいくらでもやりますよ。そうじゃないでしょ。皆さん方が二元代表ですから、我々の代わりに執行部と戦ってくださいよ。よろしくお願いします。

座長 ありがとうございます。ごもっともな意見で、ついつい僕が町長のところに行ってくれとか言っちゃうんですけど、我々正直言いまして、10月の新しいメンバー2人減になって10名で委員会も3つを2つに縮めて、毎回毎回数日前もですね、朝9時から夕方6時までずっとやってきました。それをそんなの当たり前だと思ってやってるわけで、Aさんの言われるとおり町長と喧々諤々でやってるんです。ぜひ本当は委員会のやつもYouTubeで流したいくらいのことをやってるんです。やってるんですが、先に進まない。皆さんに良いご報告がとりあえずできていない。だから皆さんの見る前で執行部と議会が駅のバリアフリーでもいいですよ。小学校の更新の問題でもいいですよ。冒頭に申し上げた9月ですね、やろうじゃないかということも言ってます。それも専門家の、中立的な専門家の人もこちらでも用意できるけど、そちらで用意してくださいと。一緒にやればいいじゃないですかと提案してます。そこで、それが実現しないということは、あまり僕らを責めないでください。やることはやってるんです。駅のバリアフリーも小学校のことなんて、僕もローカル的な男なんで、誰もこの町を悪くしようと思ってやってるわけではないんです。多少町長と、多少どころじゃないですけど、波長はあいません、正直言って。でも、是々非々でどうですかって言うことは、申し上げてる。別にわがまを僕は言ってるつもりなくて、たまたま私見が入りますし、議会の総意っていうのも、それぞれが違った意見があっというわけで、正直申し上げますと、町長怒るとですね、あなたと意見が違うからで終わっちゃうですね。じゃあその辺もですね、身近にいる方々、昔はですね、長老の方がですね、やっぱりいて、町長なり議員にですね、口酸っぱく意見言う人たちいっぱいいたんですよ。そういう人たち全くいなくなってしまうんで、ぜひですね、そういう重鎮の方はそういう役目もしていただいて、御宿も良いまちづくりになればと思ってます。

まあ時間も時間なので、あと1人2人で終わりにしたいと思うけども、時間も過ぎてますんで、誰か最後終わりにって言う方はいらっしゃいますか。せつかく若いお母さん来てるんで。どっか行っちゃった。いいですか。

時間もオーバーしてますんで、この辺で終わりにしたいと思います。

本日は非常に活発なお話ができたとと思います。ありがとうございました。引き続き、御宿町議会では、議会活動の状況を住民の皆様に報告するとともに、皆様の声を聞いて行政に反映するため、努力してまいる所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

司会者 以上をもちまして、議会報告会を終了いたします。

最後に受付でお渡しいたしました、アンケートについて、書き込んでいただいたものを回収箱に入れていただくと大変ありがたいです。

今日は本当にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。